

どんな仕事をしているの？



認知症の人を支えるための地域づくり

区民の皆さんが地域で「生きがい」を持った生活を送れるよう、各関係機関と連携を図りながら、認知症の人とその家族に対する支援体制を整えます。

ちよだはあとチーム（認知症初期集中支援）

医療・介護・福祉の専門職や地域の医師がチームとなり、認知症の人やその家族のご相談に対応します。必要に応じて、専門の医療機関などにもつながります。

認知症カフェの開催

認知症カフェは、認知症のある・なしに関わらず、皆さんで情報共有しながら交流ができる場です。専門のスタッフがいるので、個別相談をすることもできます。

認知症サポーター養成講座の開催

認知症サポーターは、認知症の人やその家族をあたたく見守り、ちょっとした手助けをする地域の応援者です。講座では、認知症への理解を深めながら、適切な対応方法などを学べます。

若年性認知症の方の支援

65歳未満で発症する認知症である「若年性認知症」の人や、その家族のご相談にも対応しています。適切な相談窓口や支援機関とつながれるようサポートします。

認知症かな？と不安を感じる方

認知症の人のサポートに悩んでいる家族の方

まずは一歩だけ
勇気を出してみませんか？

お住まいの地域の
推進員が支えます！



高齢者あんしんセンター麹町

担当区域 麹町・富士見出張所管内
住 所 千代田区一番町12
いきいきプラザ一番町
電 話 03-3265-6141
F A X 03-3265-6138

高齢者あんしんセンター神田

担当区域 神保町・神田公園・
万世橋・和泉橋出張所管内
住 所 千代田区神田淡路町2-8-1
かんだ連雀
電 話 03-5297-2255
F A X 03-5297-2256

認知症支援のパートナー

認知症 地域支援推進員って、 ご存じですか？



にん ち しょう ち いき し えん すい しん いん 認知症地域支援推進員って、なに？

認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、行政・医療機関・介護事業所などの関係機関をつなぎ、皆さまの日常生活を支援する専門職です。

話す・聴く

認知症の人やその家族のお悩み、
日常の困りごとなどをお聞きします。



支える

認知症の人やその家族が
その人らしく安心して暮らせるよう、
認知症を理解していただく活動を行います。



事例 1 診断されたけど、どうすれば…

自由なひとり暮らしを楽しんでいたAさん。コロナ禍で人との交流や外出機会が少なくなったある日、物や人の名前が思い出せないことに気づきました。病院を受診すると、軽度の認知症だと言われます。

迷惑をかけないために仕事は辞めたほうがいいのか、介護申請が必要なのか——大きなショックと不安に襲われつつ、思い切って推進員に相談しました。

一緒に課題を整理して、「急に生活を変えてしまわない」「できることは続けて、困った部分はサポートしてもらう」「大切なのは人とつながること」を確認。

Aさんは、今も仕事を続けながら、認知症カフェや地域活動にも参加し、自分らしく暮らしています。

繋がる

必要なサービスを検討し、関係各所との
連携・調整・情報共有を図ります。



事例 2 受診拒否が強くても…

10年前から引きこもりで、もの忘れや幻覚・妄想、急に怒り出すなどの症状が見られるBさん。長い間、入浴や着替えができておらず、不衛生な状態でした。「自分は認知症じゃない、医者には行かない」と拒否的で、困った家族からの相談を受け、推進員と医師が自宅に訪問することになりました。

最初は「調子が悪いところなんてない」と言っていたBさんも、次第に「わざわざ来てくれたのなら…」と協力的に。傾聴していくことで、最終的には介護保険申請を行うことができました。

その後は訪問看護サービスで清潔が保たれ、Bさんも穏やかになり、ご家族の負担感も軽減したのです。